



まちの農業・漁業・林業・商工業などを楽しめるイベントを初開催!

第1回黒潮町まるごと産業祭



黒潮町で初の「第1回黒潮町まるごと産業祭」が、12月1日、土佐西南大規模公園(大方地区)体育館周辺で行われました。

町内の団体がそれぞれに開催してきたイベントを一つにまとめることで、団体間の連携を深め、より多くの集客につなげようと、昨年から準備。農協、森林組合、商工会、NPO 砂浜美術館、町役場などで実行委員会を組織し、農業祭がより発展した新たなイベントとして「産業祭」を開催しました。

当日は温暖な一日となり、約4000人が来場。町の特産品を使った食べ物や工芸品、リースや貝殻クラフトのワークショップ、蘭の品評会など、町の魅力を再発見する一日となりました。またステージでは、のど自慢や丸太早切り、アームレスリングの大会もあり、観客も一緒に盛り上がりました。

(商工観光係)

各団体の代表者に「黒潮町まるごと産業祭」について聞きました!

■実行委員長／黒潮町商工会 会長

小笠原 武さん



天気が良く、寒さも和らいでよかった。「産業祭」は、これまで各団体でやっていたものを町で一体となって行った初めてのイベント。これからも協力し合って黒潮町の魅力をPRし、最終的には若い人が住みたくなる、楽しい町にしたい。商工会は出店とりまとめを担当。

■副実行委員長／高知はた農協大方支所 支所長

吉福 猛さん



もち投げの餅を農協が、お菓子をにこにこ市が提供。町全体の産業をまとめてにぎやかに開催できてうれしい。これまでは単独で農業祭をやっていたが、会場や駐車場のスペースが問題になっていた。他の団体と合同開催することでお客さんに楽しんでもらえた。

■幡東森林組合 代表理事組合長

岸本 四郎さん



森林組合は、木工品販売と無料のリース作りワークショップで出店したほか、丸太切り大会を企画した。黒潮町で初めて開催した産業祭が、天候にも恵まれ、多くのお客さんに来てもらえてよかった。林業に関心を持ってもらえるようPRでき、手ごたえを感じている。

■高知県漁協佐賀統括支所 支所長

国常 育夫さん



漁協は、魚の町・黒潮町のPRと魚食普及を目的に参加。魚のおいしさを再認識してもらうため、できたてのカツオのたたきや、鈴大敷で獲れた新鮮な魚を販売。おかげさまで完売した。また、底引き網漁で獲れた魚で干物を作る「くろしお工房」にも出店協力いただいた。